

平成28年度栄町地区別防災訓練レジメ

・ ・ 自己と家族を守り、そして隣保共助のために ・ ・

「家庭に有る身近な資機材で防災グッズを造り減災を考える ・ ・ !!

NPO 法人日本防災士会 千葉県防災士技術支援チーム
防災士 川崎 隆克

| 訓練項目・時間 | 10/23・栄町竜角寺 33・旧酒直小学校屋内・屋外 | 10/30 (日)・栄町請方 157-1・布鎌小学校屋内・屋外 0476-95-0138 |
|---|--|--|
| 9:00～9:20 | 開式（訓練内容、心構え、注意）訓練の重要性と必要論 参加者 150 名（約 40 名 4 班のローテーション方式） | 開式（訓練内容、心構え、注意） 訓練の重要性と必要論 参加者 40 名（班分けはしない） |
| 9:20～9:50 応急手当法 応急担架法 徒手搬送法 A 班 | 三角巾の活用、しかし常備して無い家庭向けに身近な資機材で応急手当・担架・徒手搬送法を考える。 パンスト、ネクタイ、傘、雑誌、サランラップ、レジ袋、玉ねぎネット、 毛布 1・2、ロープ、米袋、作業着、椅子、 ファイヤーマンキャリー、前屈、引きづり、背負い、組み手、両手、 | 9:20 分～10:20 迄、随時実施、 時間の配分は防災士側で調整、 休憩を随時取りながら行う |
| 9:50～10:20 災害に役立つロープワーク B 班 | 基本編（結節・結着・結合）、種類と用途、（本結び、巻き結び、一重継ぎ、もやい結び、節結び、ふた廻りふた結び） 応用編（ポリタン、木槌、ボール、） つり下げ、吊り上げ | |
| 10:20 ～ 10:50 救出・救助法 C 班 | 大規模災害では救出・救助・火災の優先順位が有る、従って全ての救助・火災に行政（消防・警察）は対応出来る訳では無い、当てにならない。従って、否が応でも隣保共助が必要となる 瓦礫場作成ダミー砂人形挿入、要救助者の検索・確認・進入法、家庭に有る身近な資機材で救出・救助、ボールの使い方（力点・支点・作用点 | |

| | | |
|---|--|--|
| | の関係) 当て木、クサビの当て方、救出法等 | |
| 10:50 ~ 11:20 初期 消火訓練 消火器(加 圧式)取扱 訓練 D班 | 初期消火の重要性 全国の火災件数(25年総務 省消防庁調べ) 48.075件、内 119番で確知 69.8% (33.582 件) 内 62.9% (21.123件) が初期消火 死者 1.625人 家庭火災報知機設置義務 火災三要素(酸素・熱・可燃 物) 消火のポイント(窒息消 火・冷却消火・除去消火) 消火器の取り扱い 火点 2~3mに近づき ワンノズル火点に向け ツープン外し スリーレバーを力強く握 る 充填に時間が掛かれば出来 る範囲で実施 | |

上記のレジメで実施します。23日は防災士最低15名必要となります。

30日は6名で実施

消防署で準備品

屋外では応急手当と救出コーナーに大判のブルーシートが2枚必要、以外に下記お願いします。

- 1、 応急手当。担架コーナーにテーブル3脚、パイプ椅子5脚
- 2、 ロープワークにポリタン3個、斧、かけや、
- 3、 救出・救助コーナーに瓦礫場、砂ダミー人形1体、コンパネ2枚
- 4、 初期消火コーナーに火点3個、消火器10器、充填方法検討